


しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』 No.9	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7 ☎090-7275-9890 2014, 9月14 (日)
---	---

第9回活動「稲刈り体験」

- ・ ・ ・ 今年の、稲の実り具合はどんなだろうか？
- ・ ・ ・ 1年振りの鎌、うまくつかえるかな？
- ・ ・ ・ 田んぼには、どんな生き物がいるかな？

1, 日 時： 2014年9月14 (日) 全日、天気：晴れ

3. 場 所： 午前中は、JAXA見学  
 午後は、宅間さんの田んぼで稲刈り

4, 参加者： 13家族 内訳 大人 15  
 中学生 2  
 小学生 16  
 幼 児 2  
 合 計 35  
 スタッフ 3  
 そして、伊興保育園の先生 2  
 鹿浜こども園の先生 6  
 総 計 46

5, 活動の様子

○ JAXA (宇宙航空研究開発機構)

Japan Aerospace Exploration Agency

日本の宇宙開発の様子を学ぶことができました。

\*H-2ロケットの大きさにビックリ！

(長さ・・・50m、直径・・・4m、重さ・・・16トン)

こんな大きいものが宇宙に向かって登っていくのですから、驚きとビックリ！でした。

そのためのエンジンは、1個でジャンボ1機分、それが2個ついている。

\*宇宙ステーション

70m×110mの大きさ

<きぼう>日本実験棟・・・2人が仕事

<こうのとり>荷物運搬船・・・6000kgの荷物を運ぶ

10mまで近づき、ロボットアームでつかまえる

\*宇宙服

重量は、なんと120kg、

人が入るスペースと、生命維持装置がいっしょになっているという。

\* 見学ツアーを予約しておく、ビデオと展示物の解説があり、よく理解することができました。

(今回は30名分しか予約していなく、16名が参加できませんでした。申し訳ありませんでした。)

\* この宇宙センターを見学し、もっと宇宙のことやロケットのことを知りたくなりました。さらに、ロケット発射場である内之浦や種子島へも出かけたくまりましたね。

#### ○ 稲刈り

\* お昼は、バスの中になりました。

神社にバスが着いてから、30分程休憩しました。子どもたちは、早速、虫をとったりメダカをつかまえたりしていました。

\* 天満宮でお参りをしてから、田んぼに向かいました。

この天満宮は、雨のときには社務所の大広間で休ませてくれます。トイレや困ったときには助けてくれるという、さすがに神社の心の広さですね。

\* 13:30ごろに田んぼに着きました。

もう、宅間さんがコンバインを用意し、稲の間に生えている稗や草をとっていてくれました。

\* 宅間さんへの挨拶の後、稲刈り鎌とわらを持ち、頭を垂れているコシヒカリを刈り始めました。

ザクザクという音が、秋空に昇っていきます。刈ったら、わらでしばります。そのくり返しですが、みんな一生懸命です。

とうとう全部の稲を刈ってしまいました。

初めて全部の稲を刈ることができ、終わったときにはみんな「やったー！」と歓声をあげました。

約2時間で、全部の稲を刈り取りました。

\* 稲刈りを横目でみながら、虫取りに夢中になっている子もいました。オンブバッタ・ショウリョウバッタ・イナゴ・コオロギ・トンボ・チョウ・クモ・カエル等が、虫かごのなかに入れていました。へビも見つけて、追いかけていました。

\* 刈り取った稲の束は、コンバインに次々に入り、籾とわらに分けられました。籾は、軽トラックの容器の中へ、煙突のようなものから送られました。わらは、田んぼにまかれ、土を肥やす栄養分になります。

\* 今回刈り取った米の量は、約300キログラム！精米すると、4俵ぐらいになるそうです。

4人の一年分の量ですね。

米の種類は、コシヒカリです。

こうして、今年の米の収穫体験は終了しました。

午前中にJAXAで見学し、気力を盛り上げていたからでしょうか？暑いさなかの稲刈りでしたが、最後まで力を合わせ、稲を刈ることができました。

\* 帰りのバスの中は、みんないい顔ばかりでした。ふりかえりの感想文を書

くと、休憩地の守谷サービスエリアです。みんな思い思いに、休憩できました。

## 6、親と子の、いきいき感想

- 帰りのバスで、ヒロくんはねむってしまいました。

稲刈りよりも、虫とりで遊んでいました。

帰りのバスは、ズーっと寝ていました。

宇宙見学も、あまり楽しくなかったみたい。

お父さんがヒロ君の年齢なら、目を輝かせて、見たと思います。お父さんの今は、子どもたちがどう生きてくれるかです。子どもたちは、今、どういうことに目を向けるのでしょうかね？

原点を知らせることが、本当でしょうね。

\* 「稲刈りで知る農家の苦労。あの面積で、わずかのお米・・・。」

お米の大切さ、日本人が今まで何故お米を食べてきたか。戦後のわずかな時で、日本は変わって、今、おかしくなっている。

お米を見直し、食生活をもとにもどし、今、それを考える時。

のらえもん50年の目標ですね。

鹿浜西小2年

父

- JAXA、楽しかった！

音、うるさかった。

稲刈り、刈らないで、ずっとむすんでいた。

初めての 全刈り成功 いいじゃないの～！（だめよ～だめだめ！！）

鹿浜中2年

- 宇宙、よかった！音が、やばい！ペン、かわい～！

稲刈りで、かゆくなった。かゆすぎた～。けど、まあ、楽しかった！

稲刈りで めっちゃかゆくて あつかった

宇宙で 発射音 うるさかった

横浜末吉中1年

- いねかりは、たくさん水をのんだので、水がたりなくなりました。

お米とはべつのしょくぶつもさいてしまうので、作るのがたいへんなことがわかりました。

今はたうえをして、そしてしゅうかくだけど、こんどははじめからおわりまでそだててみたいです。

いねかりだ あつかったけど たのしいな

北鹿浜小3年

\* 昨年、子どもは根を上げ、大人はぐったりしてしまったのに、今年は、みんな、あっという間にすべて刈れましたね！

JAXA、やっぱり、少し予習させてきたら、もっと楽しめたかも？

でも、若田さんのニュース等、いつも興味深く見ている娘は、ますます興味がわいたようでした。

刈る娘 束ねる母も 上達し

母

- かえるをつかまえて、たのしかったです。

清水保育園

\* 脱穀した後の粃の量が少ないことに、驚きでした。  
米作りの大切さ・苦勞が、よくわかりました。

いなほより 虫と蛙が カゴの中 父

- うちゅうセンターのおみやげやさんが、たのしかった。  
いねかりのかまで、じょうずにできた。

上沼田小1年

\* 田植えと稲刈りの両方を体験できて、良かったです。  
とても大変でした。

頂いたお米、おいしく食べたいと思います。 母

- カエルをいっぱいつかまえて、たのしかった。  
稲刈りをして、農家の方の苦勞がよくわかりました。

上沼田小3年

母

鹿浜こども園の先生方も、一句、ひねってくれました。

- 稲刈りで かなへびなでて 眠ったよ
- 稲刈りで 今日の私は コンバイン
- JAXAさん 宇宙で稲刈り できるかな
- 秋の空 私の心は 上の空
- 星空に 負けず輝く 米の粒

- 大人も、子どもの心に戻り楽しめた稲刈り。  
全部刈ることもでき、充実感いっぱいです。  
経験を重ねるたびに農作業が好きになり、また、経験したくなります。  
これからも、好きなことをいっぱい増やしていきたいと思います。  
農作業 やればやるほど 好きになる  
心地よい 稲刈る音 耳残る

伊興保育園

- 今日、初めてののらえもんの会に参加させて頂きました。  
午前中のJAXAも、とても楽しく見学することができました。  
子どもたちにもいろいろなことに興味・関心を持ってもらいたいと日々思っ  
ていますが、興味・関心は、驚きや発見、「へ～、そうなんだ!!」「すごい!!」  
と心を動かされるるところから始まることを、今日はめいっぱい体験できたよ  
うに思います。  
私自身が「楽しい!!」と思えることがたくさんありました。  
稲刈りも、初体験でしたが、鎌で稲を刈る時の音、足腰の痛み、稲の山、ど  
れも心地よいものでした。  
ありがとうございました。

稲刈りや “ザク”と鎌の音(ね) 疲れとぶ  
やれうれし 稲穂の束を 肩かつぐ

伊興保育園